

い k i i k i L i F E みやぎ

エイジングマガジン

冬号
WINTER

2013年12月13日発行

発行

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)

企画編集

河北新報社

協力

宮城河北会

INDEX

- 3-4 ねんりんピック
- 5 体操のページ
- 6 イベント&トピックス/お好みシネマ缶
- 7 ピックアップ
- 9-10 宮城いきいき便り
- 11 SUNクラブニュース
- 12 いきいきサロン
- 13 短歌/俳句/川柳/消費生活相談
- 14 Q&A

ねんりんピックよさこい高知2013

龍馬の里で燃えた!



「長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流」をテーマに、スポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典「第26回全国健康福祉祭こうち大会」(愛称:ねんりんピックよさこい高知2013)が、10月26日から29日まで、高知県10市6町1村1広域連合で開催された。宮城県からはスポーツや文化活動に親しむ60歳以上の127人が参加。20種目の交流大会や各種イベントを通し全国の人々と交流を深めた。交流大会で輝かしい成績を挙げた選手に、受賞の喜びや大会の様子を伺った。(3・4面に関連記事)

粘り強さでツキ呼び込む

健康マージャン

多賀城市 江口豊治さん(68)

「飲まない、賭けない、吸わない」がモットーの健康マージャンは、仙台市など宮城県内で盛んで、全国的にもレベルが高い。その中で選考会を勝ち抜き、県代表の1人としてねんりんピックに臨んだ。

「龍馬ブロック」で64人が4戦を競い合う中、合計128・4点をたたき出し、見事1位に。この点数はブロック内はもとより、全4ブロックの優勝者の中でも最も高い。

「ツキがありました」と口元をほころばせる。「必ずツキは訪れるから、それまで粘り強く戦うこと」。そんな宮城県麻雀段位審査会の山岸次雄会長のアドバイスを守ったのが勝因、と分析する。

1回戦が始まったころは負けが続いたが、「諦めず我慢して」徐々に挽回。2回戦では点数が伸び、最終戦までツキを手放さず勝つことができた。

ことは昨年引き続き2度目の優勝という快挙。「地元の健康マージャン仲間には、まぐれでなかったのかと驚かれた上に、怖がられてしまいました」と笑う。

高知県の印象は、親切、フレンドリー。宮城県選手団のユニホームを着て町を歩くと、にこやかに話し掛けてくる県民が多かったという。「桂浜などの観光地を巡り、名物のカツオのたたきも味わい、高知を楽しむことができました」。



普段は地元の多賀城市新田中の研究会員や職場の仲間と卓を囲む。マージャンは「いこいコミュニケーション手段」とか



強さ見せつけ全戦制す

バウンドテニス

宮城むすび丸君

宮城県内4団体に所属する7人が、合同チーム「宮城むすび丸君」を組んで出場した。一時接戦にもつれ込む場面も見られたが、予選・決勝の全試合をほぼ安定した強さで制し、リーグ優勝した。

選手の半数以上は20年以上のキャリアを持ち、指導員の資格もあるベテラン。全国大会での優勝経験も多い。

「ねんりんピックは初出場でしたが、おととしの東日本大震災で励ましてくださった全国のバウンドテニス仲間へ恩返しをしようと、特に張り切りました。優勝できたのは選手の日頃の努力と、いい仲間が集まって研究し合ってきた成果だと思います」と佐藤州監督。

また、監督として「出場した以上は上位入賞が目標。けれども勝負にこだわり過ぎて肩に力が入らないよう、和やかな雰囲気づくりに努めました」とも話す。

「全国から高齢者が集い、スポーツなどで交流を図る日本は良い国だとあらためて思った」と、大会の印象を語る。

バウンドテニスはテニスコートの6分の1の広さでプレーでき、未経験者や高齢者でも気軽に楽しめる生涯スポーツ。宮城県内には愛好家による団体が多くある。



前列左から荒木俱子さん(66)、佐藤州監督(75)、中村まり子さん(61)、高橋友子さん(61)。後列左から大友則彦さん(60)、荒木志朗さん(71)、中村寛さん(62)

